**「知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅤ期」**

（様式１）

**研究テーマ提案書**

2025年　　月　　日

愛知県知事　大村　秀章　殿

（代表機関）

住所

機関名

代表者職氏名

（連絡先）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所属

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　役職・氏名

「知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅤ期」に係る研究テーマについて、下記のとおり提案します。

記

１　研究テーマ名

|  |
| --- |
| （50文字以内） |

２　研究概要

|  |
| --- |
| （200文字以内） |

なお、研究概要の詳細は、パワーポイント資料（様式２）のとおり。

３　応募分野

４研究対象分野から該当すると考える分野にマル（複数選択も可能ですが、主たる該当分野は◎、それ以外の該当分野は○とし、それぞれ１つ選択）を記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| マニュファクチャリング |  | ヘルスケア |  |
| アグリ・フィッシュ |  | カーボンニュートラル |  |

４　研究テーマ枠

　下記のいずれかに○を記入してください（重複不可）。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 挑戦枠 |  | 実用枠 |  |

５　目標

　研究期間中の目標とする技術成熟度レベル（TRL）に１つだけ〇を記入してください。

（開発ターゲットごとのTRLが複数に跨っている場合には、総合的に判断してください）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| TRL9 | 事業化 | 大量生産 |  |
| TRL8 | システムの完成及び検証 |  |
| TRL7 | 実証 | トップユーザーテスト |  |
| TRL6 | 実証・デモンストレーション |  |
| TRL5 | 応用研究・開発 | 想定使用環境下での技術実証 |  |
| TRL4 | 研究室レベルでの技術実証 |  |
| TRL3 | 技術コンセプトの実験的な証明 |  |
| TRL2 | 基礎研究 | 原理・現象の定式化 |  |
| TRL1 | 基本原理・現象の解明 |  |

６　参画機関

（１）研究リーダー

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 機関名 |  | | | | | |
| 所在地 |  | | | | | |
| 代表者職氏名 |  | | | | | |
|  |  | | | | | |
| 所属・役職 |  | | | | | |
| 氏名 |  | | | | | |
| 電話／E-mail |  | | | | | |
| 分類  （いずれかに○） | 大学 | 研究開発機関等 | 大企業 | 中堅企業 | 中小企業 | スタートアップ |
|  |  |  |  |  |  |

（２）事業化リーダー

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 機関名 |  | | | | | |
| 所在地 |  | | | | | |
| 代表者職氏名 |  | | | | | |
|  |  | | | | | |
| 所属・役職 |  | | | | | |
| 氏名 |  | | | | | |
| 電話／E-mail |  | | | | | |
| 分類  （いずれかに○） | 大学※ | 研究開発機関等※ | 大企業 | 中堅企業 | 中小企業 | スタートアップ |
|  |  |  |  |  |  |

※ 公共による実用化あるいは実用化に当たって公共と民間の連携した取組を前提とした開発ターゲットを設ける場合に限り、事業化リーダーを大学・研究開発機関、企業のいずれも可とします。

注）複数の場合は、上表をコピーして下に追加してください。

（３）研究参画機関

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 機関名 |  | | | | | |
| 所在地 |  | | | | | |
| 代表者職氏名 |  | | | | | |
|  |  | | | | | |
| 所属・役職 |  | | | | | |
| 主たる参画者氏名 |  | | | | | |
| 電話／E-mail |  | | | | | |
| 分類  （いずれかに○） | 大学 | 研究開発機関等 | 大企業 | 中堅企業 | 中小企業 | スタートアップ |
|  |  |  |  |  |  |

※ １機関につき主な参画者１名分を記入してください。

※ 複数の場合は、上表をコピーして下に追加してください。

７　ハンズオン支援

挑戦枠、実用枠の全ての採択テーマは原則、第三者機関による支援の選定対象となります。第三者機関等の選定に基づき、実用枠を優先に10件程度が選ばれます。ハンズオン支援の希望有無を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| ハンズオン希望有無 | 有・無 |

　　（希望しない場合）ハンズオン支援を希望しない、もしくはハンズオン支援を受けることが困難な理由・事情等を記入してください。

|  |
| --- |
|  |

８　知の拠点あいち研究室の利用

研究チームに属するスタートアップは、希望又は抽選に基づき研究期間を限度として研究室(原則1室/社)を提供する予定です(賃借料無料、但し常時、研究員等の在室が前提)。スタートアップ以外でも常時研究員等の在室を条件に研究室が提供される場合があります（公募要領の別添２（研究室の仕様）を参照）。研究室利用の希望の有無を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 利用希望 | 有・無 |

研究室には許容条件（広さ、設備重量、機械的な振動等）があります。割り振り等の参考とさせていただくため、利用用途と要望事項（隣同士の２部屋を希望等）を御記入ください（希望どおりとならない可能性もあります）。

|  |
| --- |
|  |

９　実証研究エリアの利用

モノづくり技術の研究開発拠点である「知の拠点あいち」敷地内に、実証研究エリアを整備し、実証研究の場を提供しており、本プロジェクトへの参画チームの希望を受けて調整により無償で貸し付けます（調整によっては貸付できない場合があります）。

実証研究エリアの利用の希望有無を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 利用希望 | 有・無 |

割り振り等の参考とさせていただくため、利用期間、利用用途、利用面積、要望事項を御記入ください（希望どおりとならない可能性もあります）。

|  |
| --- |
|  |

10　国等の競争的資金や地方公共団体の補助金等への申請状況

研究リーダー及び主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金や地方公共団体の補助金等（以下、「助成等事業」）での助成等について、事業名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記入してください。記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取消になる場合があります。なお、既に採択されている助成等事業と、重点研究プロジェクトⅤ期（以下、「Ⅴ期」）で応募しようとする研究テーマが、同一又は類似の研究開発内容の場合には、Ⅴ期に応募することはできません。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請先 | 助成等事業名 | 研究課題名 | 研究期間 | 役割 | 本人受給研究費 | ｴﾌｫｰﾄ（％） |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

※ 複数申請している場合は、上表をコピーして下に追加してください。

1. 現在受けている、または採択が決定している助成等について、本人受給研究費（期間全体）が多い順に記入してください。その後に、申請中・申請予定の助成等を記入してください（「事業名」の欄に「（申請中）」などと明記してください。）
2. 「役割」は代表または分担等を記載してください。
3. 「本人受給研究費」はご本人が受給している金額を記載してください。
4. 「エフォート」は年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。本プロジェクトに採択されると想定した場合のエフォートを記載し、申請中のものは採択された場合のエフォートを記入してください。